

開催中のロンドンオリンピック・・・「なでしこ JAPAN」が銀メダル！

惜しかったけれど、彼女らの労苦に率直にお祝いをしたいと思います。

ところで、みなさんは「ナデシコ」の花を見たことがありますか？

日本中が沸き立つように喜び、私もそれを記念に、こんな写真を「号外」でみなさんにお届けします。



これが「ナデシコ」の花です。

有名な花ですが、と言っても、よく知らない人もおられると思いますので、紹介しました。

5つの花弁があり、しかもその一つ一つの先は、深く無数に割れ、この独特の姿がいかにも「可憐」で、エレガント・・・だから「やまとなでしこ(大和撫子)」と、呼ばれるのでしょう。

「なでしこ」は、「撫子」と書くように、「撫でるように愛する子」の意味、可愛がって育て、愛らしい日本の子どもを「大和撫子」と呼ぶのでしょう。

「秋の七草」の一つでもあり、利尿作用のある薬草でもあります。

しかし花だけではつまらないので、ハチでも飛んできて、止まってくれないかな・・・と、しばらくチャンスをうかがっていましたが、赤トンボがすぐそばに止まってくれました。

ナツアカネでしょうか・・・

このチャンスを活かそうと、「ナデシコ」を別の角度から見た美しさを撮りたくになります。

シャッター音にトンボが逃げないかハラハラしながら、慎重に順光方向に身体を動かし、絞りを絞り込んで、背景が真っ黒になるようになるまで露出不足にして撮影してみました。



上から見るばかりで無く、「ナデシコ」の側面の美しさも浮き立たせたかったのです。デジカメを初めて手にした7年ほど前は、私はこんな写真ばかり撮っていました。花や昆虫、野鳥などをきれいに撮りたかったのです。でも、がんばってもがんばっても、それは図鑑にあるような写真のモノマネであり、カメラ雑誌の写真コンクールにあるような写真のモノマネや二番煎じであり、私の力では、とてもそれには追いつかないのを感じました。そこで、今では写真そのものの「美しさ」は抜きにして、自分が撮りたい写真、たとえそれがピンボケ写真であっても、「生きものの生態」が現れるような写真を撮ることに、方向転換しました。

ところが、ロンドンオリンピックが始まる瞬間から、「なでしこJapan」の活躍が報道され、それにワクワクして、決勝までに進むことになり、再びこんな写真を撮って見たくなったのです。「ナデシコ」は近くでは多摩川などに多く咲き、河原に咲くことが多いので、「カワラナデシコ」と呼ばれることが多いようです。「呑川」でも、注意してみればどこかに咲いているかもしれません。

先ほど、ヒョイと気がついたのですが、なんと隣家のお庭にもちゃんと咲いていて、ビックリしました。とりあえず、お祝いに、「号外」で「ナデシコ」の写真をお贈りしました。

今日(2012/8/10)は「久原小」の「六郷用水ウォーク」(おおたく環境探検隊)です。

私はこれから「大田区民プラザ」(下丸子)で開かれる「大田・平和のための戦争資料展」に出掛けます。本当に良く、いろんな行事とぶつかることばかりで、あちらこちらにご迷惑をおかけします。

-----photo essay by-----高橋 光夫